

平成 23 年度 シラバス	学年・期間・区分	2年次・前期・選択	
	対象学科・専攻	機械・電子システム, 電気情報システム, 土木工学専攻	
安全衛生工学 (Safety and Health Engineering)	担当教員	引地力男(Hiki ji, Rikio)	
	教員室	機械工学科棟 1 階(Tel. 42-9103)	
	E-Mail	hiki ji@kagoshima-ct. ac. jp	
教育形態 / 単位数	講義 / 2単位		
週あたりの学習時間と回数	〔授業 (100 分) + 自学自習 (200 分)〕 × 15 回		
〔本科目の目標〕 技術者に必要な安全衛生を中心に, 安全衛生の必要性, 関係法令, 作業環境, 食の安全を含む商品の安全性に関する諸問題等について理解する。			
〔本科目の位置付け〕 安全衛生工学はものづくりを行う上で最も重要な科目である。工学実験や実習など実技系の科目のみならず, あらゆる座学科目とも密接な関連がある。			
〔学習上の留意点〕 将来社会人になって, 衛生管理者 1 種および 2 種をはじめとする, 労働安全コンサルタントや衛生コンサルタント等の資格試験に合格するために, 教科書等を参考に 2 時間程度の予習をし, 授業時間での質問等に対応できるようにしていること。また, 講義終了後は, 復習として 2 時間程度の演習課題等の課題に取り組むこと。そして, 労働災害に関する事故や商品・製造物に関する事故に関する記事について自分の考えをまとめておくこと。疑問点があれば, その都度質問すること。			
〔授業の内容〕			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. 安全衛生の基礎	2	安全配慮義務について理解し, 説明できる。 不安全な行動について理解し, 説明できる。 不安全な状態について理解し, 説明できる。 フルプルーフについて理解し, 説明できる。 フェールセーフについて理解し, 説明できる。	安全配慮義務について図書館の文献やインターネットを使って概略を勉強しておく。
2. ヒヤリハット	2	ハインリッヒの法則について理解し, 説明できる。 ヒヤリハットの意義について理解し, 説明できる。 ヒヤリハットの進め方について理解し, 説明できる。	ヒヤリハットについて図書館の文献やインターネットを使って概略を勉強しておく。
3. リスクアセスメント	4	リスクアセスメントの意義について理解し, 説明できる。 リスクアセスメントの進め方について理解し, 説明できる。	リスクアセスメントについて図書館の文献やインターネットを使って概略を勉強しておく。
4. 危険予知訓練 (KYT)	4	危険予知訓練 (KYT) の意義について理解し, 説明できる。 危険予知訓練 (KYT) の進め方について理解し, 説明できる。	危険予知訓練 (KYT) について図書館の文献やインターネットを使って概略を勉強しておく。
5. 関係法令	8	労働安全衛生法について理解し, 説明できる。 労働安全衛生規則について理解し, 説明できる。 労働基準法について理解し, 説明できる。	下巻 p. 3-p. 473 の内容について, 教科書を読んで概要を把握しておくこと。
6. 労働衛生	6	衛生管理体制について理解し, 説明できる。 作業環境要素について理解し, 説明できる。 職業性疾病について理解し, 説明できる。 作業環境管理について理解し, 説明できる。 救急処置について理解し, 説明できる。	上巻 p. 265-p. 384 の内容について, 教科書を読んで概要を把握しておくこと。

